

磐城時報 二月十日 日刊 編輯者 石城郡平町野田町十四番地 印刷者 石城郡平町野田町十四番地 電話 二二二二

綴驛の数字に現はれた 常磐炭礦の近況 需要期に入つて好轉

長期に亘る財界不況の影響を受損九萬圓も日ならず取戻し同年け久しく萎靡不振の状態をつゞの總収入二百三十萬圓に達する

「炭界の景気が好轉して来たのは事實で二三年の統計では一日平均六千圓から六千五百圓にすぎなかつた運賃収入が

河川凍結し 發電所大狼狽

石城郡に於ける鮫川、夏井川、好間川の三大河川には植田水力電氣、二本松電氣、東部電力、日立電力等諸會社發電所數箇所

玉川村の小作爭議 地主に三割減を要求 丸山小作官來郡

石城郡玉川村上原の小作人十九前九時から町有林の立松木一千名は全國農民組合支部長箱崎利五百五十三本の入札拂下げを行

石城郡湯本町公設質屋は三萬圓他協議した。の資金にて来る二月十一日より

五十圓以下無利子 湯本公設質屋開業

赤井山道 縣道編入

炭礦々長會 常磐炭礦聯合會礦區長會は十七日午前

信用組合設立 郡大久村では二十八日信用組合の設立總會を開く。

頃を期して一大運動を開始し今確實とされた現在の出炭量。年秋の大祭迄には具體化するや

常磐炭礦壽命 常磐炭田の現在埋藏量は今回所轄礦山監督局の調査によると海面上

前借倒しの藝妓 小文東京で捕はる

平町教育會 平教育會では十七日午前十時から平町に役員會を開き會計並に六年度

産馬組合長會 石城郡産馬組合區長會は来る二十三

赤井山道 縣道編入

火見櫓建設 石城郡若松信吾氏診斷の結果猖狂紅熱

蛇繩麻

小川文章
 (二)
 月夜の路傍で繩を見た時多く
 の人は先づ蛇と見て驚いてゐ
 る。直ちに繩と見る者は稍賢
 い人であつて麻であること見
 る人は稀なのである之は形に
 み執着するからであるからで
 ある。

今一つの例をこれば扇子は
 竹と紙と糊とで出来て居り、
 傘も竹と紙と糊と出来て居る
 又提灯も同じく竹と紙と糊と
 作つてあるが、之を取り替へ
 て使用する事は出来ない。本
 性は竹と紙と糊とであるが夫れ
 は因縁に因つて形が表はれて
 来るので即ち體用相と云ふも
 のである。本体は同じであつ
 ても扇子となり傘となり提灯
 となり其形を異にして来る
 假りの和合相なのである。又
 表はれた形に依つて働きが各
 違ふので、人間と雖も知事、
 警察部長、署長、巡査と云ふ
 様に姿が變るとそれだけ働き
 が異つて来るのである。
 雨が降り出した時は元は同
 じだからと云ふて御客さんの
 縮りに扇子を傘の代りに貸す
 人もなければ、暑いと云ふて
 提灯で煽ぐお方もない況や御
 目出度い御祝儀の座敷に傘を
 扇子代りに持つてすまして居
 る人はない筈である。元は同じ
 だが姿が變れば變つた丈の働
 きをせねばならぬものである
 官に對して彼れも何々時代は
 己と一緒だつたなど負け惜み
 を云ふ人もあるが体用相に考
 へが及ばないからである。故
 に此の三相を極むれば扇子は
 提灯を羨む必要もなく、又提
 灯と云ふ相に變つて来たもの
 を傘が羨む必要もないのであ
 る。各自それの働きをする
 ればよいし又異つた働きをす
 る所に妙味が存するのである

千代製靴福引券付大賣出し

五圓均一革靴 (修善自由)

赤短靴、編上靴デモ
 ノーブル型
 角九型

耐久保證券付革靴
 破損 三ヶ月新品交換
 十ヶ月修善無料

ちよだ子供靴一足毎に一枚進呈

一等	參拾圓(勸業債券)	拾本
二等	拾圓(全)	貳拾本
三等	五圓(全)	壹百本
四等	ちよだ特製エンビツ打ツ、千貳百本	三本ツツ
五等	全	殘全部

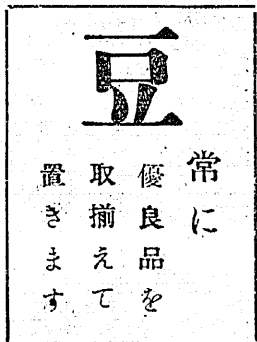


平四丁目
 マルトモビル内
菊地靴店



晒あん豆

小樽製餡株式會社製
 晒あんの缺點とされて
 る「くさみ」は絶對
 御座ひません



常に
 優良品を
 取揃えて
 置きます

平紺屋町
 たまき屋
 電六七一

高級品と有名品に

迷ふ勿れ!!!

品質本位の詰替

クリームは是非當店へ

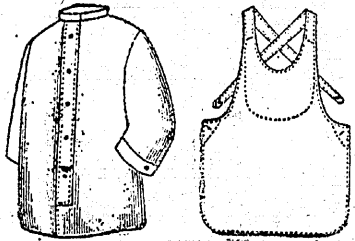
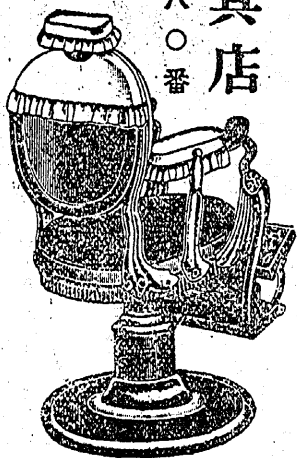
平土橋山崎合名會社前

芳香園

理髮器具店

電話六八〇番

白衣各種



外科

病室完備
 光線科

上田外科醫院
 電話一二九番

入院應需

藥學博士 丹波敬三先生製藥指導
 醫學博士 豊島豊次郎先生動物試験
 咳止の
オピール錠

妙藥
 特約店
 平町一丁目(電話四六二番)
大平屋藥店

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
 マルソー・アランク・白 1.10
 マルソー・ルー・ジ・赤
 良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

二葉印刷所
 平町仲町・電話一九三番

部幹大四齋甲龍

當る一月(二十日)午後五時開場

龍甲齋虎市	龍甲齋小虎丸	龍甲齋蘭丸	龍甲齋虎一丸
-------	--------	-------	--------

館樂聚

平新川町十九

木村病院

電話一六四

産科 院長 木村寅次郎
 婦人科 女醫 木村コウ
 内臓外科 醫學士 松永憲一
 整形外科 醫學士 萩原駿二
 藥局 東京藥學士 萩原駿二

外科 花柳病科 專門

平町六丁目橋際

木村外科醫院
 電話三〇九番

耳鼻咽喉科 專門

平町仲田町七一

應入
 需院
合津醫院
 電話五五九番